

無線LAN中継機
WEX-1166DHP
エアステーション設定ガイド

buffalo.jp

35021060-03 2017.06

目次

第1章 はじめに	5
操作方法について	5
電波に関する注意	5
無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関す	「る注意…6
動作環境	7
各種ソフトウェアのご紹介	8
エアステーション設定ツール(Windows/Mac OS X用)	8
第2章 親機に接続する	9
設定画面からWPSで親機に接続する	9
本製品を2台使って、通信距離をさらに延ばす	11
ステップ1 1台目を接続する	11
ステップ2 2台目を接続する	12
第3章 本製品の設定画面	13
かんたん設定と詳細設定について	13
エアステーション設定ツールのインストール	14
設定画面を表示する	14
Windowsをお使いの場合	14
Macをお使いの場合	16
スマートフォン・タブレットをお使いの場合	18
かんたん設定画面	19
トップ画面	19
中継機設置ガイド	20

無線親機とWPSでつなぐ	21
無線端末とWPSでつなぐ	21
無線親機を選択してつなぐ	22
無線設定	23
オンラインアップデート	24
詳細設定画面	24
LAN	24
2.4 GHz(11n/g/b)	25
5 GHz (11ac/n/a)	28
MACアクセス制限	30
マルチキャスト制御	31
中継機能(WB)	32
パーソナルモード	33
システム設定	35
ログ	36
設定管理/再起動	36
ファームウェア更新	37
システム	39
ログ	40
通信パケット	40
診断	40

第4章 本製品の各種設定41	
新しく購入した端末を本製品と接続する41	1
WPSボタンで接続する41	1
設定画面からWPSで接続する42	2
手動で本製品に接続するには42	2
他の無線機器から検索できなくする(ANY接続拒否設定)43	3
アクセス可能な端末を制限する(MACアクセス制限)43	3

親機のMACアクセス制限設定を本製品にも適用する44
親機-端末間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信のみを許可 する45
端末同士の通信を禁止する(パーソナルモード)46
本製品のIPアドレスを変更する47
Windows 10/8.1/7/Vistaをお使いの場合47
Mac OS Xをお使いの場合50
本製品のファームウェアを更新する53
自動的に更新する場合53
手動で更新する場合54
ランプを消灯する54
第5章 困ったときは55
無線接続が切れる/不安定、通信が遅い55
無線でつながらない56
設定画面が表示できない57
設定を出荷時の状態に戻したい57
第6章 付録58
製品仕様58
初期設定一覧
コントロールパネルの表示方法61
IPアドレスの固定方法62
Windows 10/8.1の場合62
Windows 7の場合63
Windows Vistaの場合64

版権·免責事項	
---------	--

第1章 はじめに

操作方法について

本書では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合 は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある証明レーベルをはがすこと
- ・ IEEE802.11aのW52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。
- IEEE802.11b/g対応製品は、次の場所で使用しないでください。
 電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く
 - (環境により電波が届かない場合があります。)
- ・ IEEE802.11b/g対応製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業·科学·医療用機器
 - ・ 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局(免許を要する無線局)
 - (2) 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- ・ IEEE802.11b/g対応製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項 に注意してください。
 - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていない ことを確認してください。
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに 本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお 困りのことが起きたときは、当社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数	2.4 GHz
変調方式	OFDM方式/DS-SS方式
想定干涉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関する注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。 その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの 内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

- ・ 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)

コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを 持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が 発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセ スポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティーに関する全ての設定をマニュアルにし たがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。

セキュリティーの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、「BUFFALOサポートセンター」までお問い合わせ下さい。

当社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)

「無線LANのセキュリティに関するガイドライン」より

動作環境

本製品の動作環境は次の通りです。

対応機器・対応OS

<本製品との無線接続>

無線LAN機能に対応したルーター、アクセスポイント、 無線LAN機能に対応したパソコン、Mac、スマートフォン、タブレット端末、ゲーム機など

<本製品の設定変更>

Microsoft Edgeを搭載したWindows 10^{*1}パソコン、 Internet Explorer 11以降を搭載したWindows 8.1^{*1}/7^{*1}パソコン、 Internet Explorer 9以降を搭載したWindows Vista^{*1}パソコン、 Safari 6.0.2以降を搭載したMac OS X (10.5/10.6/10.7/10.8/10.9/10.10/10.11)、 iOS 5以降のiPod touch / iPhone / iPad、 Android 2.2以降のスマートフォン、タブレット端末 ※1 64 ビットと32 ビットに対応しています。

<エアステーション設定ツール(当社ホームページよりダウンロード)>

Windows 10(64 ビット/32 ビット)、Windows 8.1(64 ビット/32 ビット)、Windows 8(64 ビット/32 ビット)、 Windows 7(64 ビット/32 ビット)、Windows Vista(64 ビット/32 ビット)、 Mac OS X (10.4/10.5/10.6/10.7/10.8/10.9/10.10/10.11)

各種ソフトウェアのご紹介

エアステーション設定ツール(Windows/Mac OS X用)

エアステーション設定ツールは、本製品の設定画面をかんたんに表示するためのソフトウェアです。本製品と パソコンを接続してエアステーション設定ツールを実行すると、本製品の設定画面を表示したり、本製品のIP アドレスを変更したりすることができます。

操作の選打	尺				
次の無線親機	が選択され	しました。おこないたい操作を	選択してください。		
エアステーショ	心名	ネットワーク名 (SSID)	MAC アドレス	IP アドレス	
AP XXXXXXXX	00000	Extender-G-XXXX	XX:XX:XX:XX:XX:XX	192.168.11.210	
		設定画	画を開く(<u>₩)</u> 実(ナニちら)		
		()®	节はこうり /		
		この無線親機の	IP アドレスを設定する(I)		
		この無線親機の (上級者	IP アドレスを設定する(I) ・管理者向け)		
		この無線親機の (上級者	IP アドレスを設定する(1) ・管理者向け)		
		この無線親機の	₽ アドレスを設定する① ・管理者向け)		
• •		この無線現機の (上級者 エアステー	P アドレスを設定する(1) ・管理者向け) ション設定ツール		
• •	操	この無線親機の (上級者 エアステー 作の選択	IP アドレスを設定する(1) ・管理者向け) ション設定ツール		
• •	*	この無線親機の (上級者 エアステー 作の選択 次の無線駅機が選択されまし	P アドレスを設定する[] ・管理者向け) ション設定ツール た。おこないたい操作を選択	してください。	
•	*	この無線現機の (上級者 エアステー 作の選択 次の無線現機が選択されまし エアステーション名	PP アドレスを設定する(1) ・管理者向け) ション設定ツール た。おこないたい操作を選択 APX0000000000X	してください。	
•	*	この無線現機の (上級者 エアステー 作の選択 次の無線現機が選択されまし エアステーション名 ネットワーク名 (SSID	IP アドレスを設定する(I) ・管理者向け) ション設定ツール た。おこないたい操作を選択 APX0000000000 Extender-G-XXXX	してください。	
°	*	この無線現機の (上級者 エアステー 作の選択 次の無線現機が選択されまし エアステーション名 ネットワーク名 (SSID MAC アドレス JP アドレス	IP アドレスを設定する(1) ・管理者向け) ション設定ツール た。おこないたい操作を選択 APX000000000X Extender-G-X00X XXXXXXXXXXXXXXXXX	してください。 255.0	
		この無線現機の (上級者 エアステー 作の選択 次の無線現機が選択されまし エアステーション名 ネットワーク名 (SSID MAC アドレス IP アドレス	IP アドレスを設定する(1) ・管理者向け) ション設定ツール た。おこないたい操作を選択 APXXXXXXXXXXXXXXX Extender-G-XXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	してください。 255.0	
	*	この無線現機の (上級者 エアステー 作の選択 次の無線現機が選択されまし エアステーション名 ネットワーク名 (SSID) MAC アドレス IP アドレス	IP アドレスを設定する(I) ・管理者向け) ション設定ツール ション設定ツール た。おこないたい操作を選択 APXXXXXXXXXX Extender-G-XXXX XXXXXXXXXXX 192.168.11.210 / 255.255. 設定画面を開く (通常はこちら)	してください。 255.0	
		この無線現機の (上級者 エアステー 作の選択 次の無線現機が選択されまし エアステーション名 ネットワーク名 (SSID MAC アドレス IP アドレス	IP アドレスを設定する(1) ・管理者向け) ション設定ツール た。おこないたい操作を選択 APXX0000000000 Extender-G-XXXX 192.168.11.210 / 255.255. 設定画面を開く (通常はこちら)	してください。 255.0	

第2章 親機に接続する

本製品の設定を行う前に、本製品を親機と接続してください。

以下の3通りの接続方法があります。

- ・本製品本体のWPSボタンを使用して親機に接続する
 →本製品に付属の「初期設定ガイド」のおもて面を参照して接続してください。
- ・ 設定画面から手動で親機に接続する
 → 本製品に付属の「初期設定ガイド」のうら面を参照して接続してください。
- ・ 設定画面からWPSで親機に接続する
 → 以下の手順に従って、設定を行ってください。

設定画面からWPSで親機に接続する

ここでは、本製品の設定画面にログインし、親機とWPS接続する方法を説明します。

- メモ:この手順で親機に接続するには、無線接続できるパソコンやスマートフォンなどの端末が必要です。
 - 1 現在お使いの親機に、お使いの機器(パソコンやスマートフォンなど)を接続してインターネットに接続 できることを確認します。

メモ: インターネットに接続できない場合、無線親機の説明書を参照して設定を行い、インターネットに 接続できることを確認してください。

2本製品を親機の近くのコンセントに挿し込みます。約1分後、パワーランプ(○)が緑色に、親機接続ランプ(○)が橙色に点灯していることを確認します。

メモ: ランプが上記のように点灯していない場合は、本製品側面のRESETボタンをパワーランプが点滅するまで(約5秒間)押し、ランプが上記のように点灯するまでお待ちください。

3本製品に付属のセットアップカードに記載されている「初期設定SSID」(「!Setup-」から始まるSSID)に接続します。

メモ:

- ・ 初期設定SSIDは、5 GHz用の「A」と2.4 GHz用の「G」の両方が発信されます。お使いの環境に応じてどちらかを選択してください。
- ・ SSIDへの接続方法は、お使いの端末の取扱説明書を参照してください。
- 4 ブラウザーを開き、アドレス入力欄に「192.168.11.210」と入力して「Enter」キーを押します(または「Go」 や「→」をタップします)。

http://192.168.11.210

5 ユーザー名に「admin」(小文字)、パスワードに「password」(小文字)を入力して、[ログイン]をクリックします。

ユーザー名	
admin	
パスワード	
•••••	
□モバイル用設定画面	
ログイン	

6「無線親機とWPSでつなぐ」をクリックします。

- 7 親機のWPSボタン(またはAOSSボタン)を押して、WPS接続を開始します。WPSを行う方法は、親機の取扱説明書を確認してください。
- **8** [OK]をクリックします。
- 9本製品と親機の接続設定が完了するまで、最大2分ほどかかります。約2分後、パワーランプ()、親機 接続ランプ()、WPSランプ()が緑色に点灯していることを確認してください。
 メモ:
 - ・ WPSランプは、5分間点灯した後消灯します。
 - ・ WPSランプが早く点滅している場合は、本製品と親機を近づけ、手順2からやり直してください。
- 10 ブラウザーを閉じます。もう一度設定画面を開く場合は、第3章の「設定画面を表示する」を参照して、 設定画面を開いてください。

本製品を2台使って、通信距離をさらに延ばす

すでに本製品1台をお使いの場合、本製品の電波が届く範囲内にもう1台の本製品を増設すると、通信距離をさらに延ばすことができます。ここでは、本製品を2台使って通信する設定方法を説明します。



ステップ1 1台目を接続する

親機に1台目を接続します。本製品に付属の「初期設定ガイド」または上記「設定画面からWPSで親機に接続する」を参照して、親機に接続してください。



ステップ2 2台目を接続する

1台目の設定が終わったら、本製品同士を接続(2台目を1台目に接続)します。



2台目を1台目の近くのコンセントに挿し込み、電源をオンにします。約1分後、パワーランプ(○)が緑
 色に、親機接続ランプ(○)が橙色に点灯していることを確認します。

メモ: ランプが上記のように点灯していない場合は、本製品側面のRESETボタンをパワーランプが点滅するまで(約5秒間)押し、上記のようにランプが点灯するまでお待ちください。

- 2 2台目のWPSボタンを、WPSランプ()が2回周期で点滅するまで(約2秒間)長押しします。2回周期で 点滅したら、ボタンから手を放します。
- 3 1台目のWPSボタンを、WPSランプ(△)が2回周期で点滅するまで(約2秒間)長押しします。2回周期で 点滅したら、ボタンから手を放します。

4 本製品同士の接続設定が完了するまで、約2分待ちます。
 メモ:この間に本製品は自動的に再起動しますので、手を触れずにそのままお待ちください。

- 5 約2分後、1台目と2台目のWPSランプ(△)が緑色に点灯していることを確認してください。 メモ:
 - ・ WPSランプが速く点滅している場合は、本製品同士を近づけ、手順2以降をもう一度行ってください。
 - ・WPSランプは5分間点灯した後、自動的に消灯します。
- 6 いったん2台目の電源をオフにし、設置したい場所に設置してもう一度電源をオンにします。
- **7**約1分後、2台目の親機接続ランプ()が点灯または点滅していることを確認し、1台目の子機接続ランプ())が点灯していることを確認します。

以上で2台目の接続は完了です。

お使いの端末が2台目の本製品の電波が届く場所でインターネットに接続できることが確認できたら、すべての設定は完了です。

第3章 本製品の設定画面

本章では、本製品の設定画面について説明します。

かんたん設定と詳細設定について

本製品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本製品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。

設定画面は「かんたん設定」と「詳細設定」に分かれており、用途によって使い分けることができます。少ない操作で設定を済ませたい場合は「かんたん設定」を、より高度な設定を行いたい場合は「詳細設定」をご利用くだ さい。

かんたん設定の画面(一例)



詳細設定画面(一例)

BUFFALO	fi 📑 () 🛃 🗗
		44}
LAN	● DHCP#+=15=加引用781.7%自動取得	
LAN	(自動取得できない場合は、192.168.11.210)	
無線設定	LAN側IPアドレス 〇 手柄成定 IPアドレス 192.168.11.210	
管理	サブネットマスク 255.255.255.0 ∨	
ステータス	[拡張設定]	
	デフォルトゲートウェイ	
	DNS(ネーム)サーバーアドレス ブライマリー: セガンダリー:	

エアステーション設定ツールのインストール

以降の手順を行う前に、当社ホームページより「エアステーション設定ツール」をダウンロードしてください。 Windowsをお使いの場合は、事前にインストールを行っておいてください。 **メモ:**最新版のエアステーション設定ツールは、以下のホームページより入手できます。 http://d.buffalo.jp/wex-1166dhp/

設定画面を表示する

Windowsをお使いの場合

「エアステーション設定ツール」を使って、設定画面を表示します。

1 エアステーション設定ツールを起動します。

インストール時にデスクトップ上に作られた「エアステーション設定ツール」のショートカットをダブ ルクリックします。

2 [次へ]をクリックします。

		\times	
\leftarrow	👹 エアステーション設定ツール		
	はじめに		
	このアブリケーションでは、接続中のネットワーク上でエアステーション無線親機を発見し、設定画面を閉くことがで きます。またエアステーション無線親機の IP アドレスを変更できます。		
	開始合する(こは [)次へ] をクリックします。		
	エフフテムション語会のには、パーン・マンク	,	
	エアスノーンヨショスモンール パーション ハハハ		
	次へ(20)		
			l

メモ:パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。

÷	👹 エアステーション設定!	y-JL			×
	エアステーション無約 操作したい無線親機を通	泉親機の選択 駅してください。リストにない	場合は、[再検索] をクリックし	ってください。	
	エアステーション名	ネットワーク名 (SSID)	MAC アドレス	IP アドレス	
	AP XXXXXXXXXXXXXX	Extender-G-XXXX	XX:XX:XX:XX:XX:XX	192.168.11.210	
	 ④ 無線親機が見つから; 	<u>ない場合</u>		再検索	(R)
	選択したら [次へ] をクリッ	クします。			
				次へ(<u>N</u>) キャン	セル

メモ:本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

4 [設定画面を開く]をクリックします。

👹 エアステーション設定	ミツール		
操作の選択			
次の無線親機が選択さ	約ました。おこないたい操作を	選択してください。	
エアステーション名	ネットワーク名 (SSID)	MAC アドレス	IP アドレス
AP XXXXXXXXXXXXXXX	Extender-G-XXXX	XX:XX:XX:XX:XX:XX	192.168.11.210
	設定画	面を開く(<u>W)</u> がはこちらう	
	この無線親機の II (上級者)	P アドレスを設定する(I) ・管理者向け)	

メモ:本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「IPアドレス設定」画面が表示されます。その 場合は、[無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックし、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取 得する」をクリックしてください。本製品のパスワードを要求された場合は「password」を入力して[OK] をクリックします(パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)。しばらくすると、 本製品に新しいIPアドレスが設定され、本製品に再接続します。本製品に接続したことを確認したら、も う一度手順3から行ってください。





6 ユーザー名欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力し、「ログイン」をクリックします。 (パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)

ユーザー名	
admin	
パスワード	
•••••	
□モバイル用設定画面	
ログイン	

7本製品の設定画面が表示されます。

メモ:設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[完了]をクリックして、画面を閉じてください。

Macをお使いの場合

「エアステーション設定ツール」を使って設定画面を表示します。 ここでは、OS X 10.10の場合を例に説明します。

- 1 エアステーション設定ツールを実行します。
- 2 [続ける]をクリックします。



3以下の画面が表示されたら、本製品を選択して[続ける]をクリックします。

操作したい無線親機を さい。	選択してください。リス	トにない場合は、"再検	索"をクリックしてくだ
エアステーション名	ネットワーク名 (SSID)	MAC 7FLA	IPアドレス
APX000000000000000	Extender-G-XXXX	XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX	192.168.11.210
加級規模	が見つからない場合		再検索
※101 たた #約(+ス* オ	クリックします		

メモ:本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

4 [設定画面を開く]をクリックします。

• • •	エアステーション設定ツール	
	操作の選択	
	次の無線親機が選択されました。おこないたい操作を選択してください。	
	エアステーション名 APXXXXXXXXXXXXXX	
	ネットワーク名 (SSID) Extender-G-XXXX	
	MAC アドレス XX:XX:XX:XX:XX:XX	
	IP アドレス 192.168.11.210/255.255.255.0	
	設定画面を開く (通常はこちら)	
	この無線範囲の IP アドレスを設定する (上級者・管理者向け)	
		戻る

5 [OK]をクリックします。



メモ:本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「IPアドレス設定」画面が表示されます。その場合 は、「無線親機のIPアドレスを設定する」をクリックし、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得 する」をクリックしてください。本製品のパスワードを要求された場合は「password」を入力して[OK] をクリックします(パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)。しばらくすると 本製品に新しいIPアドレスが設定され、本製品に再接続します。本製品に接続したことを確認したら、「親 機選択画面に戻る]をクリックし、もう一度手順3から行ってください。 **6** ユーザー名欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力し、「ログイン」をクリックします。 (パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)

ユーザー名		
admin		
パスワード		
•••••		
□モバイル用	設定画面	
	ログイン	

7本製品の設定画面が表示されます。

メモ:設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[終了]をクリックして、画面を閉じてください。

スマートフォン・タブレットをお使いの場合

スマートフォン・タブレットの場合は、専用アプリ「StationRadar」を使用して本製品の設定画面にアクセスします。

メモ:このアプリは、スマートフォンやタブレットを本製品と接続した状態で使用してください。

1 AppStoreまたはGoogle Playで「StationRadar」を検索し、StationRadarをインストールします。

2 StationRadarを起動すると、自動的に検索が始まります。本製品が見つかったら、本製品の製品名をタップし、[設定画面を開く]をタップします。

3 ブラウザーが起動するので、ユーザー名欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力し、「ログイン」 をタップします。

(パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)

admin		
バスワート		
•••••		
. ヹ モバイル	用設定画面	
	17	

4 本製品の設定画面が表示されます。

かんたん設定画面

トップ画面

本製品の設定画面にログインした際、最初に表示される画面です。



項目	内容
中継機設置ガイド	パネルをクリックすると、本製品-親機間、および本製品-お使いの端 末間の通信状態を確認できます。
無線親機とWPSでつなぐ	パネルをクリックして[OK]をクリックすると、親機とのWPS接続待ち 受け状態になります。
無線端末とWPSでつなぐ	本製品が親機に接続しているときのみ有効になります。パネルをクリックして[OK]をクリックすると、端末とのWPS接続待ち受け状態になります。
無線親機を選択してつなぐ	パネルをクリックすると、親機と手動接続するための画面が表示されま す。
無線設定	本製品の中継機用SSID、接続している親機のSSIDを表示します。 パネルをクリックすると、中継機用SSIDの設定画面が表示されます。
オンラインアップデート	本製品が親機に接続しているときのみ有効になります。 パネルをクリックすると、自動的にインターネットから更新データを検 索します。
詳細設定	パネルをクリックすると、詳細設定画面が表示されます。
ff .	クリックすると、トップ画面が表示されます。
5	親機との接続状況を表示します。親機と接続していないとき(🔀 が表示されているとき)にクリックすると、「無線親機を選択してつなぐ」の 画面が表示されます。
()	ファームウェアの更新がある場合などに点滅してお知らせします。ク リックすると、本製品が接続している親機のSSIDを表示します。
	インターネットに接続しているときにクリックすると、取扱説明書やソ フトウェアなどのダウンロードページが表示されます。
G→	設定画面からログアウトします。

中継機設置ガイド

パネルをクリックすると、本製品ー親機間、および本製品ーお使いの端末間の通信状態を確認することができ ます。本製品の設置位置を微調整したい場合に使用します。

中継機設置ガイド



項目	内容
通信状態に関するメッセージ	 通信状態によって、以下のメッセージが表示されます。 良好です 本製品は最適な位置に設置されています。そのままご使用ください。 中継機を親機に近づけてください 本製品ー親機間の距離が近くなるように設置してください。 中継機を子機に近づけてください 本製品ーお使いの端末間の距離が近くなるように設置してください。 親機の無線チャンネルを変更してください 親機の取扱説明書を参照して、無線チャンネルを変更してください。 中継機の無線チャンネルを変更してください 後述の「無線設定」の画面から本製品の無線チャンネルを変更してください。 中継機を親機に接続してください 第2章「親機に接続する」を参照して、本製品を親機に接続してくださ い。 子機を中継機に無線接続してください お使いの端末が親機に接続されています。お使いの端末の無線機能をオフにして、もう一度オンにしてください。それでもこのメッセージが表示される場合は、本製品に付属の「初期設定ガイド」を参照してお使いの端末を中継機用SSIDに接続してください。
 (・ (強い) (・ (普通) (・ (弱い) 	本製品-親機間の電波状態を表示します。 アイコンの下には、接続に使用している周波数帯と無線チャンネル、リ ンク速度、RSSI値が表示されます。
 ・) (強い) ・) (普通) ・) (弱い) 	本製品-お使いの端末間の電波状態を表示します。 アイコンの下には、接続に使用している周波数帯と無線チャンネル、リ ンク速度、RSSI値が表示されます。
戻る	クリックすると、トップ画面に戻ります。

項目	内容
保存する	クリックすると、現在の通信状態を保存して「前回」欄に表示します。 データは、[保存する]をクリックするごとに上書きされます。

無線親機とWPSでつなぐ

パネルをクリックした際に以下の画面が表示されます。[OK]をクリックすると、本製品が親機とのWPS接続待ち受け状態になります。



無線端末とWPSでつなぐ

本製品が親機と接続しているときのみ、クリックすることができます。パネルをクリックした際に以下の画面が表示されます。[OK]をクリックすると、本製品が端末とのWPS接続待ち受け状態になります。



無線親機を選択してつなぐ

パネルまたは画面上部の 🔀 をクリックすると表示されます。本製品に接続する親機のSSIDを設定します。 親機をリストから選択する場合は「接続先を選択する」を選択すると自動的に親機のSSIDが検索されるので、 接続するSSIDを選択して暗号化キーを入力し、[設定]をクリックしてください。

親機のSSIDを手動で入力する場合は、「接続先を手動で入力する」を選択し、SSIDや暗号化キーなどの情報を入力して[設定]をクリックしてください。

──── 無線親機を選択してつなぐ	¢,,
 接続先を選訳する 	 接続先を手動で入力する SSID 境帯化モード WPA2-PSK AES 境帯化モー 境帯化モー
	戻る 設定

項目	内容
¢,	詳細設定画面を表示します。
接続先を選択する	選択すると、親機のSSIDを検索して表示します。
再検索	親機のSSIDをもう一度検索します。
暗号化キー	接続するSSIDに設定されている暗号化キーを入力します。
接続先を手動で入力する	選択すると、親機のSSIDを手動で入力できるようになります。
SSID	接続する親機のSSIDを入力します。
暗号化モード	接続するSSIDに設定されている暗号化方式を選択します。
暗号化キー	接続するSSIDに設定されている暗号化キーを入力します。

無線設定

中継機用SSIDの設定を行う画面です。

2.4 GHz (11n/g/b) ② 有効	S GHz (11ac/n/a) ② 有効
中継機用SSID	中継機用SSID
Extender-G-XXXX	Extender-A-XXXX
暗号化モード	暗号化モード
WPA2-PSK AES	WPA2-PSK AES
暗号化キー	暗号化牛一
300000000000000000000000000000000000000	2000000000
チャンネル	チャンネル
目動	36 🗸
斯坦	滿城
144.4 Mbps (20 MHz) ~	目動選択 (20/40/80 MHz) V

項目	内容
¢ ,	詳細設定画面を表示します。
2.4 GHz (11n/g/b) 5 GHz (11ac/n/a)	無線の有効/無効を設定します。
中継機用SSID	本製品が独自に発信するSSIDを入力します。(半角英数字または記号で 32文字まで)
暗号化モード	中継機用SSIDの暗号化モードを選択します。
暗号化キー	端末との認証で使用する暗号化キーを入力します。 文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を8~63文 字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文字の 区別なし)の64桁で入力します。
チャンネル	中継機用SSIDで使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」 を選択すると、電波混雑防止機能により自動的に最適なチャンネルが 設定されます。2.4 GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減 や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定 することをおすすめします。
帯域	中継機用SSIDで使用する帯域幅を設定します。帯域幅を大きくすると、 通信速度の向上が見込めますが、周囲の電波状況が悪い場合は、効果が 得られないことがあります。

オンラインアップデート

パネルをクリックすると、自動的にインターネットから更新データを検索します。更新データがある場合は、 画面の指示に従って更新を行ってください。



詳細設定画面

LAN

LAN側の設定を行う画面です。

LAN > LAN

LAN側IPアドレス	 DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得 手動設定 IPアドレス 192.168.11.210 サブネットマスク 255 255.255.0 × 	
[拡張設定]		
デフォルトゲー	+ウェイ	
DNS(ネーム)サー	バーアドレス プライマリー: セガンダリー:	

項目	内容
LAN側IPアドレス	親機のDHCPサーバーからIPアドレスを取得する場合は、「DHCPサー バーからIPアドレスを自動取得」を選択します。手動で設定する場合は、 IPアドレスとサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。通常は設定する必要はありません。
DNS(ネーム)サーバーアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを設定します。通常は設定する必要はありません。

2.4 GHz(11n/g/b)

2.4 GHz(11n/g/b)の無線の基本的な設定を行う画面です。

卅 称	化 /	2.4 GHZ (THI/ g / b)
[基本設定]		
無線機能	☑使用する	
無線チャンネル	自動	→ (現在のチャンネル:9)
倍速モード	帯域: 144 Mb 拡張チャンネル	ps (20 MHz) > (Current: 20 MHz) 1 >
SSID1		
SSID1		□使用する
SSID		 エアステーションのMACアドレスを設定 (Extender-G-XXXX) 値を入力:
無線の認証		WPA2-PSK 🗸
無線の暗号化		AES 🗸
WPA-PSK(事前	共有キー)	XXXXXXXXXXXXX
Key更新間隔		60 分
ANY接続		ご許可する
SSID2		
SSID2		☑使用する
SSID		● エアステーションのMACアドレスを設定 (!Setup-G-XXXX) ○ 値を入力:
無線の認証		認証を行わない 〜
無線の暗号化		暗号化なし ~
ANY接続		✓許可する
[拡張設定]		
BSS BasicRate	Set 1,2,5.	5,11 Mbps 🗸
Multicast Rate	1 Mbp	os 🗸
802.11n プロテク	アション 🗵 使用	月する
DTIM Period	1	

無線設定 > 2.4 GHz(11n/g/b)

項目	内容
無線機能	無線機能を使用するかどうかを設定します。
無線チャンネル	無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択すると電 波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。手動で チャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のた め、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。
倍速モード	無線通信で使用する帯域を設定します。高速な通信を行う場合は、帯域を 「144 MHz (20 MHz)」または「300 MHz (40 MHz)」に設定します。 メモ:拡張チャンネルは、設定した無線チャンネルに応じて自動的に設定さ れます。
SSID 1	本製品独自のSSID(中継機用SSID)を使用するかどうかを設定します。「使用 する」にチェックを入れると、親機に接続している場合も本製品に確実に接 続する際などに利用することができます。

項目	内容
SSID	中継機用SSIDを設定します。 「エアステーションのMACアドレスを設定」を選択すると、「Extender-G- XXXX (XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」が設定されます。 「値を入力」を選択した場合は、中継機用SSIDを入力します。(半角英数字また は記号で32文字まで)
無線の認証	SSID 1の認証方式を以下から選択します。 WPA/WPA2 mixedmode-PSK 端末との接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-PSKの両方の認証を同時に行う 設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA2-PSK 端末との無線接続の際にWPA2(IEEE802.11i)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA-PSK 端末との無線接続の際にWPA(Wi-Fi Protected Access)に準拠した認証を行います。 WPA-PSK 端末との無線接続の際にWPA(Wi-Fi Protected Access)に準拠した認証を行います。 認証を行わない 端末との無線接続の際に認証を行いません。
無線の暗号化	無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 TKIP/AES mixedmode TKIP、AESの認証・通信を同時に行うことができます。 無線の認証で「WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能 です。 AES 暗号化の方式にAESを使用します。事前共有キーを使用して端末と無線通信 します。 無線の認証で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用できます。 TKIP 暗号化の方式にTKIPを使用します。事前共有キーを使用して端末と無線通信 します。 無線の認証で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用できます。 WEP WEP暗号化を使用します。暗号化キーを使用して無線LAN端末と通信しま す。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。 暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴される恐れがありますので暗 号化なしでのご使用は避けてください。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。
WPA-PSK(事前共有キー)	端末との認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり) を8~63文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文 字の区別なし)の64桁で入力します。
WEP暗号化キー設定	無線の暗号化に「WEP」を選択すると表示されます。 無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あ り)を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f (大文字/小文字の区別なし)の10桁または26桁で入力します。
Key更新間隔	通信用暗号化キーを更新する間隔を0~1440分の範囲で設定します。
ANY接続	チェックを外すと、無線機器からSSIDを検索できないようにし、本製品の存 在を第三者に知られにくくします。

項目	内容	
SSID 2	本製品が親機に接続する前は、初期設定用SSIDとして「!Setup-G-XXXX (XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」が設定されています。 親機に接続した後は、親機のSSIDが設定されます。親機のSSIDが設定される と、SSID、無線の認証、無線の暗号化、WPA-PSK(暗号化キー)の設定を変更す ることはできなくなります。	
BSS BasicRateSet	本製品と端末との制御通信フレームの通信速度を設定します。	
Multicast Rate	マルチキャストパケットの通信速度を設定します。	
802.11nプロテクション	従来規格の端末が混在している環境でも、コリジョン等によって性能が低下 しないようにする802.11nプロテクションを使用するかどうかを設定しま す。	
DTIM Period	端末に通知するビーコン応答間隔(1~255)の設定をします。端末のパワー マネージメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。	

5 GHz(11ac/n/a)

5GHz(11ac/n/a)の無線の基本的な設定を行う画面です。

[基本設定]		
無線機能	☑使用する	
無線チャンネル チャンネル 30 ※DFSありの場合		6 / (現在のチャンネル: 36)
		合、気象レーダー等を感知すると自動的にチャンネルが変更されます
倍速モード	帯域: 866 Mb	ps (80 MHz) V (Current: 80 MHz)
SSID1		
SSID1		□使用する
SSID		 エアステーションのMACアドレスを設定 (Extender-A-XXXX) 値を入力:
無線の認証		WPA2-PSK 🗸
無線の暗号化		AES 🗸
WPA-PSK(事前	共有キー)	XXXXXXXXXXXXX
Key更新間隔		60 分
ANY接続		ご許可する
SSID2		
SSID2		☑使用する
SSID		 ● エアステーションのMACアドレスを設定 (!Setup-A-XXXX) ○ 値を入力:
無線の認証		認証を行わない 〜
無線の暗号化		 暗号化なし ∨
ANY接続		☑許可する
1		
[拡張設定]		
BSS BasicRate	Set 6,12,2	24 Mbps 🗸
Multicast Rate	6 Mbp	os 🗸
802.11n プロテク	ション 🗵 使用	月する
DTIM Period	1	
送信出力	100 %	6 V

無線設定 > 5 GHz(11ac/n/a)

項目	内容
無線機能	無線機能を使用するかどうかを設定します。
無線チャンネル	無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。DFSに対応したチャンネルを選択した場合は、本製品が気象レーダー等を関知すると、自動的に チャンネルが変更されます。 「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが 設定されます。
倍速モード	無線通信で使用する帯域を設定します。高速な通信を行う場合は、帯域を 173 Mbps (20 MHz) /400 Mbps (40 MHz) /866 Mbps (80 MHz) のいずれかに 設定してください。
SSID 1	本製品独自のSSID(中継機用SSID)を使用するかどうかを設定します。「使用 する」にチェックを入れると、親機に接続している場合も本製品に確実に接 続する際などに利用することができます。

項目	内容
SSID	中継機用SSIDを設定します。 「エアステーションのMACアドレスを設定」を選択すると、「Extender-A- XXXX (XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」が設定されます。 「値を入力」を選択した場合は、中継機用SSIDを入力します。(半角英数字また は記号で32文字まで)
無線の認証	 SSID 1の認証方式を以下から選択します。 WPA/WPA2 mixedmode-PSK 端末との接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-PSKの両方の認証を同時に行う 設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA2-PSK 端末との無線接続の際にWPA2(IEEE802.11i)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA-PSK 端末との無線接続の際にWPA(Wi-Fi Protected Access)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 認証を行わない 端末との無線接続の際に認証を行いません。
無線の暗号化	無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 TKIP/AES mixedmode TKIP、AESの認証・通信を同時に行うことができます。 無線の認証で「WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能 です。 AES 暗号化の方式にAES(強固な暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用 して端末と無線通信します。 無線の認証で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用できます。 TKIP 暗号化の方式にTKIPを使用します。事前共有キーを使用して端末と無線通信 します。 無線の認証で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用できます。 WEP WEP暗号化を使用します。暗号化キーを使用して無線LAN端末と通信しま す。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。 暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴される恐れがありますので暗 号化なしでのご使用は避けてください。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。
WPA-PSK(事前共有キー)	端末との認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり) を8~63文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文 字の区別なし)の64桁で入力します。
WEP暗号化キー設定	無線の暗号化に「WEP」を選択すると表示されます。 無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あ り)を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f (大文字/小文字の区別なし)の10桁または26桁で入力します。
Key更新間隔	通信用暗号化キーを更新する間隔を0~1440分の範囲で設定します。
ANY接続	チェックを外すと、無線機器からSSIDを検索できないようにし、本製品の存 在を第三者に知られにくくします。

項目	内容		
SSID 2	本製品が親機に接続する前は、初期設定用SSIDとして「!Setup-A-XXXX (XXXX は本製品のMACアドレスの下4桁)」が設定されています。 親機に接続した後は、親機のSSIDが設定されます。親機のSSIDが設定される と、SSID、無線の認証、無線の暗号化、WPA-PSK(暗号化キー)の設定を変更す ることはできなくなります。		
BSS BasicRateSet	本製品と端末との制御通信フレームの通信速度を設定します。		
Multicast Rate	マルチキャストパケットの通信速度を設定します。		
802.11nプロテクション	従来規格の端末が混在している環境でも、コリジョン等によって性能が低下 しないようにする802.11nプロテクションを使用するかどうかを設定しま す。		
DTIM Period	端末に通知するビーコン応答間隔(1~255)の設定をします。端末のパワー マネージメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。		
送信出力	本製品が無線送信を行うときの電波送信出力を設定します。		

MACアクセス制限

端末からのアクセスを制限する設定を行う画面です。

無線設定 > MACアクセス制限

無線バソコンの接続 (2.4 GHz) 🗌 制限する		
無線バソコンの接続 (5 GHz) 🗌 制限する		□制限する
登録リスト		
MACアドレス	接続状態	
MACアドレスが登録されていません		
登録リストの編集		

項目	内容
無線パソコンの接続	端末からの無線接続を制限するかどうかを設定します。
	MACアクセス制限で、接続を許可する端末のMACアドレスが表示されま す。MACアドレスの登録は、[登録リストの編集]をクリックして行います。
	MACアドレス
登録リスト	MACアクセス制限で接続を許可するMACアドレスの一覧が表示されま
	す。
	接続状態
	リストに登録した端末が現在接続しているかどうかを表示します。接続中 であれば「〇」、未接続であれば「×」が表示されます。
登録リストの編集	ボタンをクリックすると、登録したMACアドレスの編集画面が開きます。
登録するMACアドレス	接続を許可する端末のMACアドレスを入力します。 [新規追加]をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。
登録リスト	MACアドレス MACアクセス制限で接続を許可するMACアドレスの一覧が表示されます。 す。 操作 登録しているMACアドレスの修正や削除を行います。

項目	内容
	本製品に無線接続している端末のMACアドレスをリストに登録すること ができます。
検出された無線パソコン一覧	MACアドレス 本製品に無線接続している端末のMACアドレスが表示されます。 操作 [登録]をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。[現在の 状態を表示]をクリックすると、現在の状態が表示されます。

マルチキャスト制御

無線LANに不要なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。

無線設定 > マルチキャスト制御



項目	内容
snooping機能	IGMPなどのマルチキャスト管理パケットを監視し、不必要な有線・無線各端子へのマルチキャストの転送を抑制することができる、マルチキャストSnooping(ス マーピング)機能を使用するかどうかを設定します。
マルチキャストAging Time	マルチキャストSnooping機能によって学習した情報を保持する時間を1~3600 (秒)の範囲で設定します。IGMP/MLDクエリー間隔よりも十分に大きな値を入力 する必要があります。

中継機能(WB)

手動設定 手動設定をする WPS設定

無線親機とWPS

無線端末とWPS

中継機能の設定を行う画面です。

無線設定	>	中継機能(WB
中継機能		
中継機能の状態	手動設定	
2.4 GHz		
SSID	Buffalo-G	-XXXX
セキュリティー	WPA2-PS	K AES
5 GHz		
SSID	Buffalo-G	-XXXX
セキュリティー	WPA2-PS	K AES

無線親機とのWPSを開始する

無線端末とのWPSを開始する

項目	内容
中継機能の状態	中継機能の状態を表示します。
SSID	本製品の接続先のSSIDが表示されます。
セキュリティー	接続先との接続で使用しているセキュリティーの種類が表示されます。
手動設定をする	ボタンをクリックすると、本製品周辺の無線親機が検索されます。 接続したい無線親機を選択し、暗号化キーを入力すると、接続処理が完了します。
無線親機とのWPSを 開始する	親機のWPSボタンを押してからこのボタンをクリックすると、親機とのWPS接続 を行います。
無線端末とのWPSを 開始する	本製品に接続する端末でWPS接続を開始してからこのボタンをクリックすると、 端末とのWPS接続を行います。

パーソナルモード

中継先で専用のネットワークを作ることができるパーソナルモードの設定を行う画面です。

無線設定 >	パーソナルモード	
パーソナルモード 2 有効 □本製品の	LAN端子でも使用する	
※ 他のユーザーにパーソナルモード用 SSIDの「WPA-PSK(事前共有キー)」を見られないようにするため、 「システム設定」から管理バスワードを変更することをおすすめします。		
[パーソナルモード用SSID設	定	
2.4GHz SSID	 ✓ 有効 ● エアステーションのMACアドレスを設定 (Personal-G-XXXX) ○ 値を入力: 	
5GHz SSID	 ✓ 有効 ● エアステーションのMACアドレスを設定 (Personal-A-XXXX) ○ 値を入力: 	
無線の認証	WPA2-PSK V	
無線の暗号化	AES V	
WPA-PSK(事前共有キー)	XXXXXXXXXXXXX	
Key更新間隔	60 分	
ANY接続	☑許可する	
* パーソナルモード用 SSIDの「WPA-PSK(事前共有キー)」の初期設定は、セットアップカードおよび 本体に記載されているキーとは異なります。		

項目	内容
パーソナルモード	設定を有効にすると、パーソナルモード用SSIDに接続した端末同士の通信および インターネット接続が可能になります。 パーソナルモード用SSID以外のSSIDに接続した端末とは通信できなくなります。 有効にした場合は、パーソナルモード用SSIDを設定してください。 「本製品のLAN端子でも使用する」にチェックを入れると、本製品のLAN端子に接 続している機器もパーソナルモードとなり、パーソナルモード用SSIDに接続して いる端末との通信およびインターネット接続が可能になります。
2.4GHz SSID	パーソナルモード用の2.4GHz SSIDを設定します。 「エアステーションのMACアドレスを設定」を選択すると、「Personal-G-XXXX (XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」が設定されます。 「値を入力」を選択した場合は、パーソナルモード用SSIDを入力します。(半角英数 字または記号で32文字まで)
5GHz SSID	パーソナルモード用の5GHz SSIDを設定します。 「エアステーションのMACアドレスを設定」を選択すると、「Personal-A-XXXX (XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」が設定されます。 「値を入力」を選択した場合は、パーソナルモード用SSIDを入力します。(半角英数 字または記号で32文字まで)

項目	内容
	パーソナルモード用SSIDの認証方式を以下から選択します。
	WPA/WPA2 mixedmode-PSK
	「「端木との接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-PSKの両方の認証を同時に行う設定」
	じ $ $
毎線の認証	WFA2FDK 端末との無線接続の際にWPA2(IFFF80211i)に準拠 た認証を行います 事前共
無秋の記言	「「「「ない」」の「ない」のでは、「ない」」では、「ない」では、「ない」」では、「ない」」では、「ない」」、「ない」」では、「ない」」では、「ない」」では、「ない」」では、「ない」」では、「ない」」、「ない」」では、「ない」」、「ない」」、「ない」」、「ない」」、「ない」、「ない」」、「ない」、」、「ない」、「ない
	WPA-PSK
	端末との無線接続の際にWPA (Wi-Fi Protected Access) に準拠した認証を行いま
	す。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。
	認証を行わない
	端末との無線接続の際に認証を行いません。
	無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。
	TKID/AEC mixed mode
	INIP/AES MIXEQMODE TKID_AESの認証・通信を同時に行うことができます
	「MIR ALSO Sime 通信を回時に1」 JC C が C さより。 毎線の認証で「WPA /WPA 2 mixed mode-PSK を選択 た堤合のみ使田可能です
	AFS
	暗号化の方式にAFS(強固な暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用して
	無線の認証で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用できます。
気気を見た	ТКІР
無様の喧ち化	暗号化の方式にTKIPを使用します。事前共有キーを使用して端末と無線通信しま
	無線の認証で WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用できます。 WED
	WEP暗号化を使用します 暗号化キーを使用して無線IAN端末と通信します。
	無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。
	暗号化なし
	暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴される恐れがありますので暗号化
	なしでのご使用は避けてください。
	無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。
	端末との認証で使用する事前共有キーを入力します。
WPA-PSK(事前共有	事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を8
キー)	~63文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文字の区
	別なし)の64桁で入力します。
WEP暗号化キー設定	無線の暗号化に「WEP」を選択すると表示されます。
	無線を暗号化する暗号化キーを入力します。
	WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を
	5文字または13文字で人力します。16進数人力の場合、0~9およびa~f(大文字/小
Key更新間隔	通信用暗号化キーを更新する間隔を0~1440分の範囲で設定します。
│ │ ANY接続	チェックを外すと、無線機器からSSIDを検索できないようにし、本製品の存在を
7 11 4 T J 54 1796	第三者に知られにくくします。

システム設定

本製品のシステムに関する設定する画面です。

管理 > システム設定

システム	情報		
エアステー	エアステーション名 APXXXXXXXXXXXX		
 管理ユーザー名 admin (変更することはできません) 管理バスワード ・・・・・・・ ロバスワードを表示する 			
アクセス			
使用する	管理アクセス バケット数		
	無線LANからの設定を禁止する 0		
	有線LANからの設定を禁止する 0		
時刻			
NTP機能	☑使用する		
サーバー名 Intp.jst.mfeed.ad.jp			
確認時間	. 24 時間毎		
日付 2016 年 1 月 1 日			
時刻 0 時 9 分 54 秒			
現在の時刻	現在の時刻を表示 現在アクセス中のパソコンから時刻を取得		

項目	内容
エアステーション名	本製品の名称を半角英数字と「-」で、64文字までで設定します。
管理ユーザー名	本製品の設定画面ヘログインするときのユーザ名です。「admin」以外に変更 できません。
管理パスワード	本製品の設定画面ヘログインするときのパスワードを半角英数字と「_」で、8 文字までで設定します。
無線LANからの設定を禁 止する	本製品に無線接続した端末から本製品の設定をできないようにします。
有線LANからの設定を禁 止する	本製品に有線接続した端末から本製品の設定をできないようにします。
NTP機能	NTPサーバーを使って本製品の内部時計を設定するかどうかを指定します。
NTPサーバー	NTPサーバーの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいず れかで設定します。
確認時間	NTPサーバーに時刻を問い合わせる周期(1~24時間毎)を設定します。
日付	本製品の内部時計の日付を手動で設定します。
時刻	本製品の内部時計の時刻を手動で設定します。

syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。

管理 > ログ ログ ログ情報転送機能 🗌 使用する syslogサーバー ☑ DHCPクライアント ✓ IPフィルター ⊡ DHCPサーバー 🗹 WPS 転送するログ情報 ☑ 無線 ☑ 認証 ☑ 設定変更 ✓システム起動 ☑ 有線リンク ✓ NTPクライアント 全選択 全解除 [拡張設定] 詳細なログ取得 □アクセスフィルター

項目	内容
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。
syslogサーバー	syslogサーバーのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。

設定管理/再起動

本製品の設定の保存、復元や初期化、再起動を行う画面です。

管理 > 設定管理/再起動

設定管理		
操作	 ● 設定ファイルを保存する ● 設定ファイルを復元する ● 設定を初期化する 	
バスワード	バスワードを使用する バスワードを表示する	
設定操作実	行	
再起動		
再起動 [₮	7ステーションを再起動します。 「記動」	

項目	内容
	操作内容を選択します。
操作	 まに内谷を選択します。 設定ファイルを保存する 本製品の設定内容を設定ファイルに保存します。 [設定操作実行]をク リックしてください。 設定ファイルをパスワードで暗号化する場合は、「パスワードを使用する」にチェックを入れ、 [設定操作実行]をクリックしてください。 設定ファイルを復元する 本製品の設定を、設定ファイルから復元します。 「設定ファイル」欄の [ファイルを選択]をクリックして設定ファイルを 指定し、 [設定操作実行]をクリックしてください。 設定ファイルがパスワードで暗号化されている場合は、 「パスワードを 使用する」にチェックを入れ、 [設定操作実行]をクリックしてください。 設定を初期化する 本製品の設定を初期化して、再起動します。 [設定操作実行]をクリック してください。
再起動	クリックすると、本製品が再起動します。

ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新するための画面です。

管理 > ファームウェア更新



項目	内容
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
	ファームウェアの更新方法を設定します。
更新方法	ローカルファイル指定 パソコンに保存されているファームウェアファイルを使用して更新を 行います。 オンラインバージョンアップ インターネットから自動的に最新のファームウェアファイルをダウン ロードして更新を行います。
ファームウェアファイル名	「ローカルファイル指定」時にファームウェアファイル名を指定します。

項目	内容	
	ファームウェアの自動更新方法を設定します。	
ファームウェア自動更新機能	 重要な更新のみ行う セキュリティーに関わる脆弱性の対応など、重要な更新があった場合、 ファームウェアを自動的にダウンロードして本製品へ適用します。 常に最新版に更新する 本製品の新しいファームウェアがリリースされると、自動的にダウン ロードして本製品へ適用します。 更新せずに通知のみ行う 新しいファームウェアがリリースされたときに、設定画面に通知します。 本製品への適用は行いません。 更新しない 新しいファームウェアがリリースされても、設定画面への通知や本製品へ適用は行いません 	
現在時刻	現在の時刻が表示されます。	
更新時刻	自動更新を行う時間帯を設定します。	

本製品の現在の状態が表示されます。

ステータス > システム

200-0	WEX-1166DHP Ver.X.XX(RX	WEX-1166DHP Ver.X.XX(RX.XX/BX.XX)		
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX	APXXXXXXXXXXX		
	IPアドレス取得方法	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得		
	接続状態	通信中		
	操作	解放 書き換え		
	IPアドレス	192.168.11.3		
	サブネットマスク	255.255.255.0		
	デフォルトゲートウェイ	192.168.11.1 (自動取得)		
	DNS1(1=1)	192.168.11.1		
AN	DN31(22449-)	(自動取得)		
	ホスト名	APXXXXXXXXXXX(手動設定)		
	ドメイン名			
	MTU值	1500		
	DHCPサーバーアドレス	192.168.11.1		
	リース取得時刻	2016/01/01/ 00:01:00		
	リース期間	2016/01/03/ 00:01:00		
	MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX		
	SSID	Buffalo-G-XXXX		
	認証方式	WPA2-PSK		
中維維能	暗号化	AES		
T THE MUTCH		11(2.4GHz)		
	MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX		
	無線状態	制限なし		
	SSID1	Extender-G-XXXX		
	四正方式	WPA2-PSK		
	暗号化	AES		
	ANY接続	許可する		
	MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX		
無線(2.4 GHz)	SSID2	Buffalo-G-XXXX		
	認証方式	WPA2-PSK		
	暗号化	AES		
	ANY接続	許可する		
	MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX		
	無線チャンネル	11(自動設定)		
	倍速モード	20 MHz		
	無線状態	制限なし		
	SSID1	Extender-A-XXXX		
	認証方式	WPA2-PSK		
	暗号化	AES		
	ANY接続	許可する		
	MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX		
無線(5 GHz)	SSID2	Buffalo-G-XXXX		
	認証方式	WPA2-PSK		
	暗号化	AES		
	ANY接続	許可する		
	MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX		
	無線チャンネル	30(于朝意定)		
	無線チャンネル 倍速モード	30(于朝前定) 80 MHz		

項目	内容
製品名	本製品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
エアステーション名	エアステーション名が表示されます。
LAN	LAN側の情報が表示されます。
中継機能	接続している親機の情報が表示されます。
無線 (2.4 GHz)	2.4 GHz帯の情報が表示されます。
無線 (5 GHz)	5 GHz帯の情報が表示されます。
パーソナルモード	パーソナルモードの情報が表示されます。

本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。

ステータス > ログ

表示するログ情報	 ✓ IPフィルター ✓ DHCPサーバー ✓ 無線 ✓ 設定変更 ✓ NTPクライアント 	 ✓ DHCPクライアント ✓ WPS ✓ 認証 ✓ システム起動 ✓ 有線リンク 	
表示 すべてチェック	フする すべてチェックを	i外す	
ログ			
ファイル(logfile.bg)に保存する			消去
日付時刻	種類	ログ内容	

項目	内容
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
ログ	本製品に記録されているログ情報が表示されます。

通信パケット

本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。

ステータス > 通信パケット

A 10-77	送信バク	「ット数	受信バケット数		
1/27/17	正常	エラー	正常	エラー	
LAN側有線	5688	0	6705	0	
LAN側無線(2.4GHz)	4018	0	3556	0	
LAN側無線(5GHz)	0	0	0	0	
現在の状態を表示					

項目	内容
送信パケット数	LAN側無線で送信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。
受信パケット数	LAN側無線で受信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。

診断

本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。



 宛先
 未入力

 実行結果
 未実行

項目	内容
宛先アドレス	接続確認を行う機器のIPアドレスまたはホスト名を入力し、[実行]をク リックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。

第4章 本製品の各種設定

本章では、本製品の各種設定について説明します。

新しく購入した端末を本製品と接続する

本製品と無線親機の接続設定を行った後に購入した端末を無線接続する場合、以下の二通りの方法があります。

- ・ 新しく購入した端末と無線親機との接続設定を行う
- ・ 新しく購入した端末と本製品との接続設定を行う

ここでは、新しく購入した端末と本製品との接続設定の方法を説明します。無線親機との接続設定を行う場合 は、無線親機の取扱説明書を参照してください。

WPSボタンで接続する

新しく購入した端末にWPS機能が搭載されている場合、本製品のWPSボタンを使用してかんたんに接続設定 を行うことができます。

- **1** 本製品のWPSボタンを、WPSランプ()が2回周期で点滅するまで(約2秒間)長押しします。
- 2 接続する端末のWPSを開始します。WPSを行う方法は、各端末の取扱説明書を確認してください。
- 3 約2分後、本製品のWPSランプ(▲)が点灯していることを確認したら、端末がインターネットに接続できることを確認してください。

設定画面からWPSで接続する

本製品のWPSボタンを使用しない場合は、以下の手順で設定を行ってください。以下の手順では、新しく購入した端末とは別に、設定用パソコンが必要です。

1 第3章の「設定画面を表示する」を参照して、設定用パソコンで本製品の設定画面を表示します。

2「無線端末とWPSでつなぐ」をクリックします。

BUFFALO		Ħ		• (i)	4	G
(・・) 中継機設置ガイド 中総価の運得が居を表示して、設選場 所や開催チャンネルの設定をご営業し ます。		* 気酸環末とWP5でつな 解壊速末を主製品にWP5で分か す。 解壊機会のSIDを使ってい す。	とぐ 売しま 便柄しま	(2000) 無線規模のリス ます、SSIDをJ できます。	選択してつ トから選択して 力して接続す	なぐ :接続し るごとも
振縦辺定 2.4 GHz (11n/g/b) 神理編第5510: Extender-G-3000X 編集55510: Extender-A-3000X S GHz (11ac/n/a) 中理編第5510: Extender-A-3000X 編集55510: Extender-A-3000X	オンラインアップデート 本拠点のファームウェアをインター ネットからダウンロードし、更新しま す。			С₀ 748272		

3 接続する端末のWPSを開始します。WPSを行う方法は、各端末の取扱説明書を確認してください。

4 [OK]をクリックします。



5約2分後、本製品の設定画面に「無線接続が完了しました」と表示されたら、端末がインターネットに接続できることを確認してください。

以上で設定は完了です。

手動で本製品に接続するには

手動で確実に本製品に接続するには、本製品の中継機用SSIDに接続してください。中継機用SSIDに接続する方法は、本製品に付属の「初期設定ガイド」のうら面を参照してください。

他の無線機器から検索できなくする(ANY接続拒否設定)

本製品に無線接続するには、SSIDと暗号化キーが必要です。ANY接続拒否設定を行うと、本製品のSSIDが隠蔽 されて、他の無線機器から本製品を検索することができなくなるため、外部からの不正アクセスを受けにくく することができます。

メモ:

- ・以下の設定を行って本製品のSSIDを隠蔽しても、暗号化設定がされていないと外部からの不正アクセスを 受けることがあります。
- ANY接続を無効にすると、WPS接続を実行することはできません。
 - 1 第3章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
 - **2**「詳細設定」-「無線設定」-「2.4 GHz」または「5 GHz」をクリックします。
 - 3 ANY接続の「許可する」をクリックし、チェックを外して[設定]をクリックします。

WPA-PSK(事前共有キー)	xxxxxxxxxxxxxx
Key更新間隔	60 分
ANY接続	□許可する

以上で設定は完了です。

アクセス可能な端末を制限する(MACアクセス制限)

本製品に接続する端末のMACアドレスをあらかじめ登録しておき、その端末のみアクセスを許可することができます。

ここでは例として、以下の2つの設定を紹介します。

- ・ 親機側のMACアクセス制限設定を、本製品にも同様に適用する場合
- 親機-端末間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信のみを許可する場合

親機のMACアクセス制限設定を本製品にも適用する

親機に設定しているMACアクセス制限設定を、本製品にも同じように適用する設定です。



ステップ1本製品の中継機能のMACアドレスを親機に登録する

- 1 第3章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2「詳細設定」--「ステータス」--「システム」を開き、「中継機能」に記載されているMACアドレスを控えます。
- 3 手順2で控えた中継機能のMACアドレスを、親機のMACアクセス制限設定に登録します。

ステップ2 親機に登録している端末のMACアドレスを本製品に登録する

- 1 親機のMACアクセス制限設定で登録している、無線接続を許可する端末のMACアドレスを控えます。
- 2 第2章「親機に接続する」を参照して、本製品を親機に接続します。
- 3 本製品の設定画面の「詳細設定」ー「無線設定」ー「MACアクセス制限」をクリックします。
- 4 「登録リストの編集」をクリックします。

5 手順1で控えたMACアドレスを「登録するMACアドレス」欄に入力し、[新規追加]をクリックして登録します。MACアドレスを入力するときは、2桁ずつコロン(:)で区切って入力します。登録できるMACアドレスは64個までです。

登録リストの新規追ば	ha
登録するMACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX
新規追加	

6 登録が終わったら「編集を終了して前の画面へ戻る」をクリックし、「無線パソコンの接続(2.4 GHz)および(5 GHz)」の「制限する」にチェックを入れて、[設定]をクリックします。

無線パソコンの接続 (2.4 GHz) ジョル取する無線パソコンの接続 (5 GHz) ジョル取する

以上で設定は完了です。

親機-端末間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信のみを許 可する

親機に端末を直接接続することを禁止し、本製品を経由する場合のみ接続を許可する設定です。



この場合は、「親機のMACアクセス制限設定を本製品にも適用する」のステップ1を行ってから本製品を親機に接続すれば設定は完了です。

端末同士の通信を禁止する(パーソナルモード)

パーソナルモードは、パーソナルモード用SSIDを使って本製品を中心に個人用のネットワークを構築する 機能です。設定を有効にすると以下のような状態になります。

- ・ パーソナルモード用SSIDに接続している機器同士、および本製品に接続している親機に対して通信ができます。
- パーソナルモード用SSID以外のSSID(中継機用SSIDや親機のSSID)に接続している端末とは通信ができません。

メモ:

- •「本製品のLAN端子でも使用する」にチェックマークを付けると、本製品のLAN端子に接続している機器も パーソナルモードの対象となります。
- ・ パーソナルモード用SSIDと事前共有キーの初期設定は、セットアップカードおよび本体に記載されている ものとは異なります。
- パーソナルモードを有効にした後は、他のユーザーにパーソナルモードの設定を見られないようにするため、本製品の管理パスワードを変更することをおすすめします。

設定は以下の手順で行います。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2「詳細設定」-「無線設定」-「パーソナルモード」をクリックします。

3 パーソナルモードの「有効」にチェックマークを付けます。

パーソナルモード □本製品のLAN端子でも使用する

メモ:本製品のLAN端子に接続している機器もパーソナルモードの対象とする場合は、「本製品のLAN端 子でも使用する」にもチェックマークを付けてください。

4 パーソナルモード用SSID(2.4GHz SSIDおよび5GHz SSID)と暗号化設定を行い、[設定]をクリックします。

[バーソナルモード用SSID設定]

2.4GHz SSID	 ✓ 有効 ○ エアステーションのMACアドレスを設定 (Personal-G-XXXX) ● 値を入力: [AirStation-G
5GHz SSID	 イ有効
無線の認証	WPA2-PSK
無線の暗号化	AES V
WPA-PSK(事前共有キー)	XXXXXXXX
Key更新間隔	60 分
ANY接続	✓許可する

本製品のIPアドレスを変更する

当社ホームページに掲載しているエアステーション設定ツールを使用すると、本製品のIPアドレスをかんたんに変更することができます。ここでは、エアステーション設定ツールを使ったIPアドレスの変更方法について説明します。

Windows 10/8.1/7/Vistaをお使いの場合

メモ:

- エアステーション設定ツールがインストールされていない場合は、第2章の「エアステーション設定ツール のインストール」を参照してください。
- ・ 本製品のIPアドレスは、設定画面からも変更できます。
 - 1 エアステーション設定ツールを起動します。 (インストール時にデスクトップ上に生成されたショートカットをダブルクリックします。)
 - 2 [次へ]をクリックします。

÷	🚵 エアステーション設定ツール	×	
	はじめに		
	このアプリケーションでは、接続中のネットワーク上でエアステーション無線親機を発見し、設定画面を開くことがで きます。またエアステーション無線親機の IP アドレスを変更できます。		
	開始する(こは [次へ] をクリックします。		
	エアステーション設定ツール バージョンメメン	¢	
	次へ(<u>N</u>)		

メモ:パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。

÷	👹 エアステーション設定:	y-JL			×
	エアステーション無縁 操作したい無線親機を過	泉親機の選択 駅してください。リストにない:	場合は、[再検索] をクリック!	してください。	
	エアステーション名	ネットワーク名 (SSID)	MAC アドレス	IP アドレス	
	AP XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	Extender-G-XXXX	XX:XX:XX:XX:XX:XX	192.168.11.2	10
		<u>ない場合</u>			再検索(R)
	選択したら [次へ] をクリッ	クします。			
			C	次へ(<u>N</u>)	キャンセル

メモ:本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。

の無線親機が選択さ	られました。おこないたい 操作を	選択してください。	
 エアステーション名	ネットワーク名 (SSID)	MAC アドレス	IP アドレス
APXXXXXXXXXXXXX	Extender-G-XXXX	XX:XX:XX:XX:XX:XX	192.168.11.210
	設定區 (通知)	常はこちら)	
	この無線親機の1	IP アドレスを設定する(I)	

5 新しく設定するIPアドレスを入力して[次へ]をクリックします。

×
← 👹 エアステーション設定 ツール
無線親機の IP アドレス設定
無線親機の新しい IP アドレスを入力してください。
◯ DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得する(かんたん)(Q)
※ 無線親機の ROUTER ランプが点灯している場合 (ルーター機能有効時)は、 この設定にはできません。
● 次の IP アドレスを使う(上級者・管理者向け)(5)
IP アドレス(1) 192 . 168 . 11 . 150 00 設定方法
サブネットマスク(U) 255.255.25.0 ~
※ 無線親機の ROUTER スイッチが「AUTO」に設定されていて、 かつ、ROUTER ランプが消灯している場合(ルーター機能無効時)は、 この設定にはできません。
※ 参考情報 - このパソコンの IP アドレス:
192.168.11.96 / 255.255.255.0 :イーサネット (Intel(R) 82579V Gigabit Network Conne
[太へ] をクリックすると、設定内容が無線親機に反映されます。
次へ(N)

メモ:本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメント がこのパソコンと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[はい]をクリックして ください。

6本製品に設定されているパスワード(出荷時状態では「password」)を入力し、[次へ]をクリックします。

_		×
~	(図) エアステーション 訳た ソール	
	設定中	
	この無線親機には、管理パスワードが設定されています。	
	無線親機の管理パスワードを入力してください。	
	管理パスワード(P) password 2人力文字列を表示(V)	
	出荷時の設定は、無し(空欄) または「password」です。	
	次へ(N)

7 [完了]をクリックします。

~	👹 エアステーション設定ツール	×
	設定完了	
	無線親機の IP アドレス設定が完了しました。	
	※ このパソコンの IP アドレスを手動で設定されている場合は、 パソコンの IP アドレスが、無線親様と同じネットワークセグメントに属しているかどうかも ご確認ください。 このパソコンの IP アドレスを設定する(C)	
	ひきつづき無線親機の設定画面を開くには、 [親機選択画面に戻る] をクリックし、もう一度無線親機を選択してく ださい。	
	親機選択画面に戻る	
	完了(E)	

以上で設定は完了です。

Mac OS Xをお使いの場合

ここでは、OS X 10.10の場合を例に説明します。

- 1 当社ホームページからダウンロードしたエアステーション設定ツールを実行します。
- 2 [続ける]をクリックします。

はじめに このアプリケーションでは、接続中のネットワーク上でエア 設定画面を聞くことができます。またエアステーション無線 す。	ステーション無線親機を発見し、
このアプリケーションでは、接続中のネットワーク上でエア 設定画面を開くことができます。またエアステーション無線 す。	ステーション無線親機を発見し、
開始するには "続ける" をクリックします。	親機の IP アドレスを変更できま
	続ける

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。

操作したい無線親機を さい。	選択してください。リス	トにない場合は、"再検ヲ	奏"をクリックしてくだ
エアステーション名	ネットワーク名 (SSID)	MAC アドレス	IP アドレス
APX000000000000	Extender-G-XXXX	206306306306306306	192.168.11.210
無線測機	が見つからない場合		再検索
選択したら "続ける" を	クリックします。		

メモ:本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。

• • •	エアステーション設定ツール
	操作の選択
	次の無線親機が選択されました。おこないたい操作を選択してください。
	エアステーション名 APX00000000000
	ネットワーク名 (SSID) Extender-G-XXXX
	MAC 7FLA XXXXXXXXXXXXXX
	IP アドレス 192.168.11.210/255.255.255.0
	設定画面を開く (通常はこちら)
	この無縁親優の IP アドレスを設定する (上級者・管理者向け)
	戻る

5 新しく設定するIPアドレスを入力して[続ける]をクリックします。



メモ:本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのMacと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、「無視して続ける」をクリックしてください。

6本製品に設定されているパスワード(出荷時状態では「password」)を入力し、[続ける]をクリックします。

• • •	エアステーション設定ツール
	設定中
	 この無線現機には、管理パスワードが設定されています。 無線現像の管理パスワードを入力してください。 管理パスワード password ② 入力文字列を表示 出荷時の設定は、無し(空環) または「password」です。
	戻る 続ける

7 [終了]をクリックします。

• • •	エアステーション設定ツール
	股定完了
	無線親機の IP アドレス設定が完了しました。 ● この Mac の IP アドレスを手動で設定されている場合は、
	Mac の IP アドレスが、無線親機と同じネットワークセグメントに属しているかどうかも ご確認ください。
F	この Mac の IP アドレスを設定する
E	ひきつづき無線脱機の設定画面を開くには、"脱機選択画面に戻る" をクリックし、もう一度無 線現機を選択してください。
	親機選択画面に戻る
	終7

本製品のファームウェアを更新する

本製品のファームウェアの更新設定は、2つの方法があります。

自動的に更新する場合

新しいファームウェアが公開された際に自動的に更新する場合は、以下の手順で設定を行ってください。

- 1 第3章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 「詳細設定」--「管理」--「ファームウェア更新」をクリックします。
- **3**ファームウェア自動更新機能で「常に最新版に更新する」と更新時刻を設定し、[設定]をクリックします。

[拡張設定]	
ファームウェア 自動更新機能	常に最新版に更新する
現在時刻	2016年1月1日(金曜日) 00:05 現在の状態を表示
更新時刻	毎日 4:00-4:59 >
設定	

メモ:

• 本製品の時刻設定が正しくない場合(画面に 🥂 が表示されている場合)は、「管理」-「システム

設定」の画面でNTP機能を「使用する」に設定してください。

- ファームウェア更新中は、再起動などにより、本製品に接続している機器が一時的に切断されます。そのため、更新時刻は、本製品を使用していない時間帯に設定することをお勧めします。
- ・ 故障の原因となるため、ファームウェアの更新中(前面のパワーランプが緑色と橙色に交互に点滅中) は、本製品の電源をオフにしないでください。

以上で設定は完了です。

設定後に新しいファームウェアがリリースされた場合、上記で設定した時間帯に更新が行われます。

手動で更新する場合

本製品をお使いの方が、お好みのタイミングでファームウェアを更新したい場合は、以下の手順で設定を行ってください。

1 第3章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「詳細設定」--「管理」--「ファームウェア更新」をクリックします。

3ファームウェアを更新します。

ファームウェアファイルがある場合は、[参照]をクリックしてファームウェアファイルを選択し、[更新 実行]をクリックします。

ファームウェアファイルがない場合は、「オンラインバージョンアップ」を選択し、[更新実行]をクリッ クして画面の指示に従ってください。

ファームウェア バージョン	WEX-1166DHP Ver.X.XX
更新方法	 ● ローカルファイル指定 ○ オンラインバージョンアップ
ファームウェア ファイル名	C:¥BUFFALO¥wex1166dhp-xxx¥wex1166dhp-xxx 参照
更新実行	

メモ:故障の原因となるため、ファームウェアの更新中(前面のパワーランプが緑色と橙色に交互に点滅中)は、本製品の電源をオフにしないでください。

以上で設定は完了です。

ランプを消灯する

本製品のランプを消灯したい場合は、以下の手順を行ってください。

1本製品の電源をオンにします。

2本製品のWPSボタンを約1秒押します。

3 ランプが消灯していることを確認します。

メモ:ランプを点灯させる場合は、もう一度WPSボタンを約1秒押します。

第5章 困ったときは

無線接続が切れる/不安定、通信が遅い

原因1 本製品や親機の動作が不安定になっている

本製品や親機への負荷などにより、動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品または親 機のACアダプターをコンセントから抜いて、もう一度挿してください。

原因2 本製品と親機、または本製品と端末との距離が遠い

本製品と親機または無線接続している端末との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられ ます。本製品の親機接続ランプ()が速く点滅している場合は、親機に近づけるなどして、ランプが点灯 またはゆっくり点滅する場所を探してください。これらのランプがすでに点灯またはゆっくり点滅している 場合は、親機や本製品に無線接続している端末を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移 動するなど、見通しを良くしてください。

原因3 端末が親機につながっている

端末と親機が接続された状態で本製品の中継設定を行うと、端末が本製品に近い場所にあっても、離れた場所 にある親機に接続したままになることがあります。

本製品の子機接続ランプ()) () か点灯しているかどうかを確認してください。(本製品に接続している端末) が1台もないときは、消灯しています。)

子機接続ランプ()))が消灯している場合、または点灯していてもつながらない場合は、端末の無線機能を オフにしてからもう一度有効にしてください。本製品に接続しているかどうかわからない場合は、中継機用 SSIDに接続してください。中継機用SSIDへの接続手順は、本製品付属の「初期設定ガイド」を参照してください。

原因4 本製品または親機周辺の電波環境が悪い

本製品と親機または本製品と無線接続している端末が2.4GHz帯で接続している場合、電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を発する機器が本製品や親機の周囲で動作していると、無線による通信が不安定になることがあります。

それらの機器を本製品や親機から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4GHz帯の電波を発する 機器がコードレス電話などであり、本製品や親機から遠ざけることができない場合は、親機の無線チャンネル を変更してください。2.4 GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、 チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。

原因5 本製品または親機のファームウェアが古い

上記の対策を行っても本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続く場合は、本製品または親機の ファームウェアを最新版に更新してください。

原因6 親機が省電力モードで動作している

親機で節電機能を使用している場合、設定内容によっては、無線接続できない場合があります。節電機能のス ケジュール登録を変更するなどして、無線接続できるように設定してください。

無線でつながらない

原因1 本製品や親機の動作が不安定になっている

本製品や親機への負荷などにより、動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品または親 機の電源をオフにして、もう一度オンにしてください。

原因2 本製品と親機、または本製品と端末との距離が遠い

本製品と親機または無線接続している端末との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられ ます。本製品の親機接続ランプ()が速く点滅している場合は、親機に近づけるなどして、ランプが点灯 またはゆっくり点滅する場所を探してください。これらのランプがすでに点灯またはゆっくり点滅している 場合は、親機や本製品に無線接続している端末を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移 動するなど、見通しを良くしてください。

原因3 セキュリティーソフトが動作している

無線接続する端末にウイルス対策ソフトなどのセキュリティーソフトがインストールされている場合、無線 接続設定に失敗することがあります。いったんセキュリティーソフトを終了して、無線接続設定を完了させて からセキュリティーソフトを起動してください。

原因4 無線接続の設定が間違っている

無線接続の設定が間違っていると、本製品に無線で接続できません。本製品が親機に正しく接続しているかを 確認してください。親機と接続しているときは、本製品の親機接続ランプ(「)が点灯または点滅します。親 機と正しく接続されていることを確認したら、本製品に付属の「初期設定ガイド」を参照して本製品に接続し てください。

原因 5 本製品や親機にANY接続拒否やMACアクセス制限が設定されている

本製品や親機にANY接続拒否の設定がされていると、端末から検索しても表示されません。その場合は、ANY 接続拒否を解除してから接続してください。

本製品や親機にMACアクセス制限の設定がされていると、登録していない端末からは無線接続できません。端 末のMACアドレスを本製品または親機に登録してから無線接続してください。

また、親機にMACアクセス制限が設定されている場合は、第4章の「親機のMACアクセス制限設定を本製品に も適用する」を参照して、本製品のMACアドレスを親機に登録する必要があります。

原因6 親機が省電力モードで動作している

親機の節電機能を使用している場合、設定内容によっては、無線接続できない場合があります。節電機能のス ケジュール登録を変更するなどして、無線接続できるように設定してください。

設定画面が表示できない

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品の電源をオフにし、もう一度オンにしてください。

原因2 設定用端末が本製品に接続されていない

「エアステーション設定ツール」を使用しても本製品が表示されない場合は、設定用端末が接続しているネットワークに本製品が接続していない可能性があります。本製品に確実に接続するために、中継機用SSIDに接続してください。中継機用SSIDへの接続手順は、本製品付属の「初期設定ガイド」を参照してください。

設定を出荷時の状態に戻したい

本製品の設定を出荷時の状態に戻したい場合は、本製品側面のRESETボタンをパワーランプが点滅するまで (約5秒間)長押ししてください。その後、本製品が再起動したら設定の初期化は完了です。

第6章 付録

製品仕様

無線LANインターフェース		
準拠規格	IEEE 802.11ac / IEEE 802.11n / IEEE 802.11a / IEEE 802.11g / IEEE 802.11b ARIB STD-T71 (IEEE 802.11ac / IEEE 802.11a) ARIB STD-T66 (IEEE 802.11g / IEEE 802.11b) (小電力データ通信システム規格)	
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調(MIMO-OFDM)方式 直交周波数分割多重変調(OFDM)方式 直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式 単信(半二重)	
周波数範囲(中心周波数)	 IEEE 802.11ac / IEEE 802.11a: W52 36/40/44/48 ch (5180~5240 MHz) W53 52/56/60/64 ch (5260~5320 MHz) W56 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 ch (5500~5700 MHz) IEEE 802.11b / IEEE 802.11g: 1~13 ch (2412~2472 MHz) 基本的に携帯電話、コードレスフォン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4 GHz帯の無線を使用する場合や、電子レンジが動作している場合は、電波干渉によって通信障害が発生する可能性があります。 	
セキュリティー	WPA2-PSK (AES/TKIP)、WPA-PSK (AES/TKIP)、WEP (128 bit / 64bit)、パー ソナルモード、ANY接続拒否/SSIDステルス、MACアクセス制限	
802.11ac データ転送速度(オー トセンス)	IEEE 802.11ac 20 MHz BW <long gi="">: 156/130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (2 stream) 78/65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 20 MHz BW <short gi="">: 173.3/144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (2 stream) 86.7/72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 40 MHz BW <long gi="">: 360/324/270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (2 stream) 180/162/135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 40 MHz BW <short gi="">: 400/360/300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (2 stream) 200/180/150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 80 MHz BW <long gi="">: 780/702/585/526.5/468/351/234/175.5/117/58.5 Mbps (2 stream) 390/351/292.5/263.3/234/175.5/117/87.8/58.5/29.3 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 80 MHz BW <short gi="">: 786.7/780/650/585/520/390/260/195/130/65 Mbps (2 stream) 390/351/292.5/263.3/234/175.5/117/87.8/58.5/29.3 Mbps (1 stream) 386.7/780/650/585/520/390/260/195/130/65 Mbps (2 stream) 390/325/292.5/260/195/130/97.5/65/32.5 Mbps (1 stream)</short></long></short></long></short></long>	

	IEEE 802 11n 20 MHz Channol < Long CI>'	
	120/(117/104/70/52/20/20/20/12) Mbass	
	130/11//104/78/52/39/26/13 Mbps (2 stream)	
	65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (1 stream)	
	IEEE 802.11n 20 MHz Channel <short gi="">:</short>	
	144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (2 stream)	
	72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (1 stream)	
	IEEE 802.11n 40 MHz Channel <long gi="">:</long>	
802.11n/a/g/b データ転送速度	270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (2 stream)	
(オートセンス)	135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (1 stream)	
	IFFF 802 11n 40 MHz Channel < Short GI>:	
	300/270/240/180/120/00/60/30 Mbps (2 stream)	
	150/125/120/00/60/45/20/15 Mbps (2 sitean)	
	150/155/120/90/00/45/50/15 Mups (1 stream)	
	54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps	
	IEEE 802.11b:	
	11/5.5/2/1 Mbps	
その他		
電源	AC 100 50/60 Hz	
消費電力	12W(最大)	
外形寸法	160(W)×80(H)×28(D)mm(突起物を含まず)	
重量	253 g	
	0~40℃、10~85%(結露しないこと)	
劉作塓現	本製品は屋内使用に限ります。	

初期設定一覧

機能	パラメーター	出荷時設定
LAN	LAN側IPアドレス	IPアドレス: 192.168.11.210 サブネットマスク: 255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	_
	DNS(ネーム)サーバーアドレス	-
2.4 GHz (11n/g/b)	無線機能	使用する
	無線チャンネル	自動
	倍速モード	144.4 Mbps (20 MHz)
	SSID 1	使用しない
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	WPA2-PSK
	無線の暗号化	AES
	WPA-PSK (事前共有キー)	本製品のセットアップカードに記載の値
	Key更新間隔	60分
	ANY接続	許可する
	SSID 2	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定 (親機と接続後は親機のSSIDが設定されます)
	無線の認証	認証を行わない

機能	パラメーター	出荷時設定
	無線の暗号化	暗号化なし
	ANY接続	許可する
	BSS BasicRateSet	1, 2, 5.5, 11 Mbps
2.4 GHZ(TTN/g/b)	Multicast Rate	1 Mbps
	802.11nプロテクション	使用する
	DTIM Period	1
	無線機能	使用する
	無線チャンネル	36
	倍速モード	866 Mbps (80 MHz)
	SSID 1	使用しない
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	WPA2-PSK
	無線の暗号化	AES
	WPA-PSK (事前共有キー)	本製品のセットアップカードに記載の値
	Key更新間隔	60分
	ANY接続	許可する
5 GHz (11ac/n/a)	SSID 2	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定 (親機と接続後は親機のSSIDが設定されます)
	無線の認証	認証を行わない
	無線の暗号化	暗号化なし
	ANY接続	許可する
	BSS BasicRateSet	6, 12, 24 Mbps
	Multicast Rate	6 Mbps
	802.11nプロテクション	使用する
	DTIM Period	1
	送信出力	100 %
MACアクセス制限	無線パソコンの接続	制限しない
	登録リスト	未登録
マルチキャスト制 御	Snooping機能	使用しない
中継機能(WB)	中継機能の状態	未接続
パーソナルモード	パーソナルモード	無効
システム設定	エアステーション名	AP + 本製品のMACアドレス
	管理ユーザー名	admin (変更することはできません)
	管理パスワード	password
	無線LANからの設定を禁止する	使用しない
	有線LANからの設定を禁止する	使用しない
	NTP機能	
	サーバー名	ntp.jst.mfeed.ad.jp
	確認時間	24時間毎
	日付	2016年1月1日

機能	パラメーター	出荷時設定
システム設定	時刻	0時0分0秒
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	Syslogサーバー	未設定
	転送するログ情報	IPフィルター、DHCPクライアント、DHCPサー バー、WPS、無線、認証、設定変更、システム起動、 NTPクライアント、有線リンク
ファームウェア更 新	更新方法	ローカルファイル指定
	ファームウェアファイル名	空欄
	ファームウェア自動更新機能	重要な更新のみ行う
	更新時刻	每日4:00~4:59

コントロールパネルの表示方法

Windowsのコントロールパネルの開き方は、OSによって異なります。以下の手順で開いてください。

Windows 10の場合

1 タスクバー上のWindowsロゴ(スタート)をクリックして表示されるメニューから、[Windowsシステム ツール]ー[コントロールパネル]を選択します。

Windows 8.1の場合

- 1 デスクトップ画面を表示させます。
- 2 画面右下隅にポインターを移動させ、そのまま上方向に移動させるとチャームが表示されるので、 [設定]をクリックします。
- 3 [コントロールパネル]をクリックします。

Windows 7/Vistaの場合

1 「スタート」メニューから、[コントロールパネル]を選択します。

IPアドレスの固定方法

Windows 10/8.1の場合

┨ [コントロールパネル]を選択します。

メモ:コントロールパネルの表示方法は、上記「コントロールパネルの表示方法」を参照してください。

- 2「ネットワークの状態とタスクの表示」--「アダプター設定の変更」をクリックします。
- 3 無線接続の場合は「Wi-Fi」を、LANケーブルで接続の場合は「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

メモ:「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。

- **4**「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。
- 5 以下のように設定して、[OK]をクリックします。
 - ・「次のIPアドレスを使う」を選択
 - IPアドレス「192.168.11.135」
 - サブネットマスク「255.255.255.0」
 - デフォルトゲートウェイは空欄
 - ・「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
 - ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ:設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [OK]をクリックします。

Windows 7の場合

- コントロールパネルを表示します。
 メモ:コントロールパネルの表示方法は、上記「コントロールパネルの表示方法」を参照してください。
- **2** ネットワーク接続の画面を表示します。 (ネットワークと共有センターの「アダプター設定の変更」をクリックします)
- **3** 無線接続の場合は「ワイヤレスネットワーク接続」を、LANケーブルで接続の場合は「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

メモ:「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。

4「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

5 以下のように設定して、[OK]をクリックします。

- ・「次のIPアドレスを使う」を選択
- IPアドレス「192.168.11.135」
- サブネットマスク「255.255.255.0」
- デフォルトゲートウェイは空欄
- ・「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
- ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ:設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [閉じる]をクリックします。

Windows Vistaの場合

- コントロールパネルを表示します。
 メモ:コントロールパネルの表示方法は、上記「コントロールパネルの表示方法」を参照してください。
- **2** ネットワーク接続の画面を表示します。 (ネットワークと共有センターの「ネットワーク接続の管理」をクリックします)
- **3** 無線接続の場合は「ワイヤレスネットワーク接続」を、LANケーブルで接続の場合は「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

メモ:「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。

4「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

5 以下のように設定して、[OK]をクリックします。

- ・「次のIPアドレスを使う」を選択
- IPアドレス「192.168.11.135」
- サブネットマスク「255.255.255.0」
- デフォルトゲートウェイは空欄
- ・「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
- ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ:設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [閉じる]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Mac OS Xの場合

1システム環境設定を表示します。

2 ネットワークをクリックします。

3 無線接続の場合は「Wi-Fi」を、LANケーブルで接続の場合は「Ethernet」を選択します。

4 IPv4の設定で「手入力」を選択します。

5以下のように設定して、[適用]をクリックします。

- ・「次のIPアドレスを使う」を選択
- IPアドレス「192.168.11.135」
- サブネットマスク「255.255.255.0」
- ルーターは空欄

メモ:設定を元に戻す場合は、IPv4の構成で「DHCPサーバを使用」を選択して、[適用]をクリックしてください。

版権·免責事項

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。AirStation™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び 高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されており ません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災 事故、社会的な損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムな どにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願 います。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に設計・製造されています。日本国外での使用における故障・不具合についての責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品(付属品等を含む)を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連 法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合 については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続し て使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバッ クアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったた めに、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであら かじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失が あった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品 に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
- ・ 本書に記載された責任は、日本国内においてのみ有効です。